



2017.10.11

コチ コンサルティング

国慶節・中秋節休暇が終わり、本年もあと2か月半余りとなりました。2018年の昇給率が気になる季節です。本年は上海市では昇給率の参考とされる“昇給ガイドライン”が未発表のまま、第四四半期に突入しました。昇給ガイドラインを公表した13省市では、賃金上昇率の引下げ傾向が顕著であり、中国経済の新常态において、昇給ガイドラインの下方調整は合理的であると報道されています。

本号では、2018年の昇給率検討の為に2017年の賃金動向の振り返ります。

【お知らせ】 コチコンサルティングでは、2012年事業開始以来300件を超える在中日系企業様の人事制度構築、労務管理体制改善をご支援させて頂きました。これらの経験を踏まえ、ご好評を頂いて参りました労務管理実態調査に、新たに報酬調査を加え、“お金だけでモチベーションを上げられない時代”を迎えている2018年度人事戦略策定の為に「**CoChi 2018年 華東地区日系企業人事管理実態一斉調査**」を実施致します。現在の賃金水準のみならず、昇給の動向、賃金と離職・採用の相関、福利の動向を含めた総合的な人員・人件費管理を明らかにします。別添の実施要領をご参照のうえ、ぜひご参加下さい。

ご参考：2017年 華東地区日系企業 労務管理実態調査報告（有効回答：264社）

<http://cochicon.com/2312.html>

（*非会員様もリンク閲覧可能設定としております）



HR Café

注目 Q & A ① 外国人の中国出張時のビザ

<http://cochicon.com/2267.html>

② 緊急帰国した日本人の納税

<http://cochicon.com/2264.html>

【セミナーご案内】

10月26日（木）外国人就業許可

【対象】 会員企業様人事担当者 【言語】 中国語

*** 詳細は別添ご案内**

10月27日（金）最新トラブル事例に学ぶ～トラブル事例を基に対処策、事前防止施策を考える～

【対象】 日本人経営管理層 【言語】 日本語

*** 詳細は別添参照**

内容 【人事・労務情報】

■ 2018年報酬を考える～2017年賃金動向の振り返り～

人事・労務情報

■ 2018年報酬を考える～2017年賃金動向の振り返り～

【昇給ガイドライン】 《中国経済週刊》の報道では、2017年昇給ガイドラインが公表された地域は、海南、天津、北京、内モンゴ、四川、山東、福建、江西、山西、陝西、河南、吉林、安徽の13省市です。2016年より基準線を上げた地域は3地域、上限を引き上げた地域も3地域、下限を上げた地域は福建省1地域にとどまっており、2%から3%へと引き上げられました。賃金上昇率の下限が引き上げられないということは、地方政府の指導として、経営が厳しい企業では賃金上昇を抑制することを容認しているということとなります。重慶、黒竜江、江蘇、浙江、西藏の5省では連続3年間昇給ガイドラインが未公表のままとなっており、上海市は1997年の昇給ガイドラインの設定以来初めて昇給ガイドラインを公表していません。

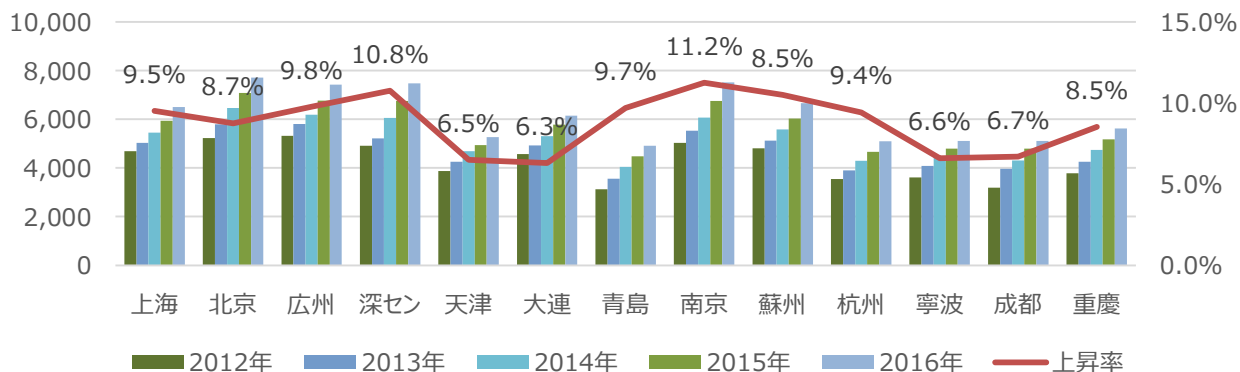
* 昇給ガイドライン：<http://cochicon.com/269.html>

* 主要都市昇給ガイドライン（2015～2017）：<http://cochicon.com/266.html>

【社会平均賃金】9月末に南京市の前年度社会平均賃金が公表され2016年の主要都市社会平均賃金が出そろいました。2016年上昇率が2015年上昇率を上回った地域は、主要13都市中、上海、広州、天津、蘇州、杭州の5都市のみでした(下表赤字)。13都市の社会平均賃金の平均上昇率は2011年をピークに下降傾向が顕著です。2016年は13都市平均は8.6%となりました。

* 社会平均賃金：<http://cochicon.com/331.html>

	2010	上昇率	2011	上昇率	2012	上昇率	2013	上昇率	2014	上昇率	2015	上昇率	2016	上昇率	最新/2010年比
上海	3,896	9.3%	4,331	11.2%	4,692	8.3%	5,036	7.3%	5,451	8.2%	5,939	9.0%	6,504	9.5%	67%
北京	4,201	4.1%	4,672	11.2%	5,223	11.8%	5,793	10.9%	6,463	11.6%	7,086	9.6%	7,706	8.7%	83%
広州	4,541	10.7%	4,789	5.5%	5,313	10.9%	5,808	9.3%	6,187	6.5%	6,764	9.3%	7,425	9.8%	64%
深セン	4,205	8.0%	4,595	9.3%	4,918	7.0%	5,218	6.1%	6,054	16.0%	6,753	11.5%	7,480	10.8%	78%
天津	3,128	12.0%	3,520	12.5%	3,872	10.0%	4,260	10.0%	4,686	10.0%	4,944	5.5%	5,265	6.5%	68%
大連	3,718	15.1%	4,144	11.5%	4,568	10.2%	4,922	7.7%	5,301	7.7%	5,783	9.1%	6,147	6.3%	66%
青島	2,379	12.4%	2,730	14.8%	3,117	14.2%	3,557	14.1%	4,038	13.5%	4,476	10.8%	4,910	9.7%	106%
南京	4,065	11.8%	4,559	12.2%	5,034	10.4%	5,532	9.9%	6,068	9.7%	6,756	11.3%	7,516	11.2%	85%
蘇州	3,797	14.0%	4,305	13.4%	4,802	11.5%	5,118	6.6%	5,580	9.0%	6,025	8.0%	6,538	8.5%	72%
杭州	2,861	12.6%	3,236	13.1%	3,541	9.4%	3,903	10.2%	4,287	9.9%	4,659	8.7%	5,098	9.4%	78%
寧波	2,808	7.7%	3,179	13.2%	3,609	13.5%	4,077	13.0%	4,479	9.9%	4,796	7.1%	5,112	6.6%	82%
成都	2,543	11.9%	2,834	11.4%	3,185	12.4%	3,970	24.7%	4,307	8.5%	4,790	11.2%	5,111	6.7%	101%
重慶	2,944	14.1%	3,337	13.3%	3,783	13.4%	4,252	12.4%	4,738	11.4%	5,175	9.2%	5,616	8.5%	91%
平均		11.1%		11.7%		11.0%		10.9%		10.1%		9.3%		8.6%	



【最低賃金】2017年上半期までに最低賃金を上げた地域は11地域で平均引き上げ率は10.8%でした。地域別の動向は下表に見る通り、いずれの地域も最低賃金の引き上げ率は急激に下がっています。

《最低賃金規定》にて、最低賃金は2年に1回は改定することと規定されていましたが、広東省は本年3月「少なくとも3年に1回の調整」と地方条例公布し、広州市では現在までのところ、3年連続最低賃金の改定が実施されていません。 * 最低賃金：<http://cochicon.com/340.html>

年	上海		蘇州		杭州		北京		天津		広州		深圳		重慶	
2010	1,120	16.7%	920	12.2%	1,100	14.6%	960	20.0%	920	12.2%	1,030	19.8%	1,100	22.2%	870	27.9%
2011	1,280	14.3%	1,160	26.1%	1,310	19.1%	1,160	20.8%	1,160	26.1%	1,300	26.2%	1,320	20.0%	870	0.0%
2012	1,450	13.3%	1,310	12.9%	1,310	0.0%	1,260	8.6%	1,310	12.9%	1,300	0.0%	1,500	13.6%	1,050	20.7%
2013	1,620	11.7%	1,500	14.5%	1,470	12.2%	1,400	11.1%	1,500	14.5%	1,550	19.2%	1,600	6.7%	1,050	0.0%
2014	1,820	12.3%	1,680	12.0%	1,650	12.2%	1,560	11.4%	1,680	12.0%	1,550	0.0%	1,808	13.0%	1,250	19.0%
2015	2,020	11.0%	1,680	0.0%		12.7%	1,720	10.3%	1,850	10.1%		22.3%		12.3%	1,250	0.0%
2016	2,190	8.4%	1,820	8.3%	1,860	0.0%	1,890	9.9%	1,950	5.4%	1,895	0.0%	2,030	0.0%	1,500	20.0%
2017	2,300	5.0%	1,940	6.6%		0.0%	2,000	5.8%	2,050	5.1%		0.0%	2,130	4.9%	1,500	0.0%